

◆分科会

\*各分科会会場は申し込み状況により変更する場合があります。また、報告順についても変更する場合があります。その場合は当日お知らせします。  
\*各会場間の移動は、駐車場が混雑しますので、できれば徒歩でお願いします。

番号/分科会名	報告タイトル・報告者名(所属)・概要
<p>1</p> <p>「じんけん」の まなびはじめ 就学前～小学校までの 人権教育</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>会場 小林看護医療 専門学校</p> </div>	<p>●「子どもから学ぶ心」 河野 美由紀 さん(須木中央保育園) ダウン症のT君は成長するにつれ、いろんな問題がでてきました。そのたびに、T君の両親、専門家と連絡を取り合っ、より良い保育をめざしてきました。 T君と周りの子ども達、そして保育士の心の変化を発表します。</p> <p>●「小学校低学年における人権教育のあり方」 ～お互いを認め合い、一人一人が自分を発揮できる学級づくりをめざして～ 山下 昌代 さん(西小林小学校) 人権に関わる授業や児童・保護者の願いや悩みに対応する実践を通して、友だちとの関わり方を学んだり、自己肯定感を高めたり、自分や友だちのよさや願いを理解することで、お互いを認め合い、一人一人が自分を発揮し、きらきらと輝く学級づくりにつながるのではないかと考え、本テーマを設定した。</p>
<p>2</p> <p>学校のちから・ 教育のちから 人権尊重の学級・ 仲間づくり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>会場 JAこぼやし</p> </div>	<p>●「人権教育の基盤をつくる学級経営」 ～支援学校との交流に基づく人権感覚の育成をめざして～ 正入木 千代子 さん(東方小学校) 本校では、学校経営の重点目標に、併設する支援学校との交流による連帯感の育成を掲げている。そこで、支援学校との交流を学級経営に位置づけ、そこでの経験を通して人権感覚を育てる取組についてまとめた。</p> <p>●「生徒が主役の居心地の良い学級を目指して」 堀 美鈴 さん(飯野中学校) 中学校という「自立」の第一歩を踏み出す学級空間を「居心地がよい」空間にするために、「存在価値」が感じられ、「個性」が認められ生かされるような学級空間にすることをめざし、その取組についてまとめた。</p>
<p>3</p> <p>子どもたちの 未来の保障 人権・同和問題に関する 授業づくりと 進路・学力保障</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>会場 西諸県農業改良 普及センター</p> </div>	<p>●「平成27年度 西諸みんなで人権を考える日」 ～小林市立東方中学校の取組～ 吉田 智恵 さん(東方中学校) 平成27年度から、小林市、えびの市、高原町の西諸地区の小学校、中学校で、7月と12月の2回、人権について考える授業を一斉に行う取組が始まった。本校で実施した学級活動と道徳についての実践報告を行う。</p> <p>●「言わない、書かない、提出しない取り組み」 小崎 範道 さん(飯野高等学校) 今進路保障に関する取り組みについて、高校で行っている人権・同和教育の授業や、就職試験における不適正選考の現状などを報告する。 また、現在話題となっている奨学金のことや、色覚検査などの問題点についても取り上げたい。</p>